

個別事業(取組)評価			
事業No.	31	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革
事業名称	道徳推進リーダー育成事業	担当課	小中学校課
		当初予算額(千円)	1,399
		補正後予算額(千円)	-
		決算額(千円)	1,220

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状 (課題) とその要因	<b>【現状】</b> ◆ 自尊感情、人と関わる力、規範意識に関して、肯定的な回答をした本県の中学生の割合は、全国と比べて3ポイント以上低い。(平成21年度「全国学力・学習状況調査」)	<b>ア 正確に把握していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 平成22年度のデータにおいても、自尊感情、人と関わる力、規範意識に関して、中学生はやや改善傾向も見られるが、肯定的な回答をした本県の小・中学生の割合は全国と比べて低い。 (平成22年度 全国学力・学習状況調査) 自尊感情 (全国比 小学生 -3.5 中学生 -0.2) 人とかかわる力(挨拶) (全国比 小学生 -3.4 中学生 -3.5) 規範意識 (全国比 小学生 -1.5 中学生 -2.1)
		<b>【要因】</b> ◆ 道徳教育についての研修が不十分であること ◆ 道徳の時間の指導方法が工夫されていないこと (平成21年度「道徳教育に関する調査」)	<b>イ 十分に特定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 平成22年度のデータにおいても、下記の要因が一番多く挙げられており、当初の分析は正しかったと判断している。(平成22年度「道徳教育に関する調査」) ・道徳教育についての研修が不十分であること ・道徳の時間の指導方法が工夫されていないこと
②	目標 (Outcome)	◆ 道徳教育について専門性を備えたリーダー教員を育成し、その研究成果を県内に普及する。 <b>【数値目標】</b> ① 道徳推進リーダーの専門性が向上したと回答する割合を9割以上とする。 ② 道徳推進リーダーの研究が参考になったと回答する割合を8割以上とする。	<b>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 道徳教育について専門性を備えたリーダー教員を育成し、その研究成果を県内に普及するうえで、妥当な目標を設定していた。
		<b>【検証(比較)方法】</b> ① 本実践研究により、道徳教育の専門性が向上したと思うか、道徳推進リーダー及び学校長へのアンケート調査 (アンケート時期:3月) ② 道徳推進リーダーの研究報告等が参考になったかどうか、公開集合研修参加者へのアンケート調査 (アンケート時期:8月・10月・12月・2月)	<b>エ 目標は達成されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 道徳教育について専門性を備えたリーダー教員を14名育成し、その研究成果を県内に普及した(公開集合研修 参加希望者約170名)。 <b>【数値目標の達成状況】</b> ① 道徳推進リーダーと所属校長全員が、研修等により専門性を高めることができた(年度末アンケート調査より)。 ② 道徳推進リーダーの研究報告が参加希望者の9割以上にとって、参考になった(参考になったと回答する割合 95.8%)。
③	実施内容 (Input・Output)	◆ 道徳推進リーダーが道徳教育に関する実践研究を行う。【H22～24の3年間、30名程度育成(H22:14名)】 ◇ (道徳推進リーダーの実践研究内容) ① 勤務校での日々の活動 ・学校における道徳教育の指導体制の確立 ・道徳の時間の指導方法の工夫 ・研究成果の検証改善 ② 集合研修(年間10回) ・道徳の指導計画 ・道徳教育の指導体制 ・道徳の時間の指導の充実 ・教育活動全体を通じて行う道徳教育 ・心を耕す道徳教育の実践 ・家庭・地域社会と連携した道徳教育 ・研究の検証・報告	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 道徳教育について専門性を備えた教員14名を道徳推進リーダーとして認定した。 ・道徳推進リーダー ……小学校教員7名 中学校教員7名 計14名育成 ◇ 道徳推進リーダーの実践研究内容 ① 勤務校での日々の活動 ・リーダー所属校では、道徳教育推進部会などの推進組織を設け、学校における道徳教育の指導体制を確立し、学校全体で道徳教育を推進した。 ② 集合研修(年間10回) ・集合研修では研究成果として模擬授業発表を行い、道徳授業のポイントを示して研究成果を普及した。

総合評価 と 今後の方向	目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <input type="text"/>	<b>【今後の方向】</b> <b>(課題)</b> 育成した道徳推進リーダーを積極的に活用するよう、県教育委員会全体・市町村教育委員会とで情報共有し連携していく。 <b>(対応策)</b> 「道徳教育重点推進校事業」の重点推進校所属市町村に「市町村道徳教育推進地区協議会」を設置し、年間5回程度の協議会を通じて道徳推進リーダーの研究成果を報告し、道徳推進リーダーを活用する。
	<b>【総合評価】</b> 今後、研修講師となって県内全体の教員の道徳授業力を向上させていく道徳推進リーダーを14名育成することができた。14名中8名が、平成22年度中に個別の成果普及活動を行い、県内教員の道徳の授業力を向上させるための取組も行った。今後は、すべてのリーダー教員が成果普及を行い、小・中学校の道徳教育の充実を図って、児童生徒に自尊感情などの豊かな心を育てていくようにする。	